

素案（たたき台）意見対応表

令和4年10月21日
 廃棄物減量等推進審議会
 資料 1 - 2

指摘方法	No.	ページ	指摘内容	対応	備考
	1	43	図書館が入っているが、ものを買わないという不買の意味に取られないか。	反映する	読み終わった後、ごみ・資源になるものを少しでも減らそうという意味で記載しています。順序を入れ替えることによって、表現を和らげました。
	2	43	読み終わった本の利用法を考えられないか。	反映済	フリマの利用やリユースなどになりますが、記載しています。
	3	43	雑誌（専門書）を図書館の蔵書とできないか。	参考	図書館に確認したところ、雑誌は受け取っていませんが、専門書はカウンターでの受け取りを実施しています。
	4	44	一廃を扱える廃棄物処理業者があるのか。削除または市が推奨する廃棄物処理業者とした方がいいのでは。	反映する	「適正な廃棄物処理業者」に修正しました。
	5	46	飲食店の取組依頼は、商店街や組合なのか。	反映済	商工会を通じて、案内を行います。
	6	46	食ロス削減協力店ステッカーやポスターなどの作成や掲示はするののか。	反映済	広く広報する仕組みという意味で、P52③に記載しています。
	7	49	すすぐの表現を、手で払う・不要な紙でふくの表現に変更したい。	参考	市報・ホームページ・イベント等でお知らせしていきます。
	8	49	小学4年生とあるが、幼稚園や保育園からやってはどうか。	反映する	他の年代にも広げたいと考えています。児童や幅広い世代にも教育を推進できるように、修正しました。
	9	50	燃やすごみ中の雑がみやプラスチック製容器包装のような分別不適物について、実物展示をする記載が欲しい。	参考	イベント等で啓発していきます。
	10	51	セブンイレブンやジモティー以外の小売店にも広げる記載があった方がいいのでは。	反映する	「他の小売店にも拡大することを検討する」を追記しました。
	11	51	ジモティーの業務内容や粗大ごみを持ち込めるか。	参考	ジモティーとの連携は様々な方向で検討中であり、P.53にあるように、リユースに誘導する取組を実施としました。
	12	55	食物資源循環事業の世帯数をもっと広げる記載を追加できないか。関心のある小売店もあると考える。	反映する	「食物資源循環事業について、より多くの人に参加してもらえるよう、制度の周知に努める」に修正しました。
	13	55	ダンボールコンポストについて読んで理解できない。どのくらいの期間で堆肥になるのか、ダンボールの処理等、わかるような記載に。	反映する	P.100に説明を追加しました。
	14	56	リサイクルきゃらばんを巡回してやれないか。	参考	回収時のスペースの問題等があり、参考意見とします。
	15	89	事業系食品ロスの業種別発生量の全体に占める割合に表記を変更すること。	反映する	全体に占める割合に変更しました。
	16	91～94	食品ロス削減ではないが、避けられない残渣の有効利用なので、記載するのであれば、順番を最後にして、①啓発 ②教育 ③ネットワーク ④フードドライブ ⑤災害 ⑥有効利用 の順ではどうか。	反映する	記載の順序を考慮し妥当と考えられるので反映しました。また、④堆肥化の項目については、食品ロスを広義的に捉え、残渣についての記載は残しました。
	17	95	「買い物の際、奥から商品を取ることはありますか。」の目標値は20%ではなく15%くらいは可能ではないか。	反映する	てまえ取り運動を推進していく意味でも、目標値を15%としました。

	18	96	「どうしても使い切れない場合は、フードドライブを活用します。」は「使い切れないような場合は早めにフードドライブへ」に変更した方がよいのではないか。	反映する	修正し、「買うとき・作るとき・食べるとき」へ移動しました。
	19	96	冷蔵庫内の中身を確認するのは、●食品の保存の項目に移動した方がよいのではないか。	参考	買う前に在庫を確認するという目的で記載しているため、記載を残しました。
	20	97	ドギーバッグは米国では30年前の用語であり、「持ち帰り容器」でよいのではないか。	反映する	ドギーバッグは現在も一部で使用されているため、併記としました。
	21	98	消費期限、賞味期限は食品表示法に基づくことを確認すること。	反映済	食品表示基準_本則・附則 (caa.go.jp) 「内閣府令第十号 食品表示基準 第2条7号、8号」を参照しました。
	22	99	食べる順番まで記載しない方がよいのでは。	反映する	やむを得ず残してしまう場合を想定し、意図がわかるように修正しました。
第2回 審議会後 オピニオン シート	23	32	「もったいないが根づくまち」の啓発を広報して欲しい。リサイクルセンター等で常時回収していることをもっと周知して欲しい。	参考	市報・ホームページ・イベント等でお知らせしていきます。
	24	43	「のこさず食べる」より「小分けにしてから食べる」の方がよいのでは。	反映する	修正しました。
	25	43	2(1)の指針はこれでいいと考える。「脱プラスチック」を意識して、行動するを「脱プラスチック」を意識して、日常生活に取り入れるに変えてはどうか。	反映する	修正しました。
	26	50	パンフレット「分別をわかりやすく」をもっと見やすくしてほしい。	参考	クリーンメイト等に協力を仰ぎながら、改善を検討します。
	27	54	リユース食器については衛生面も重要。廃棄物の減少と衛生面は別々で捉えること。	参考	衛生面については、十分気をつけるものとします。
	28	59	注射針などの禁忌物が混入するのを防ぐため、有害性資源などは透明の袋にしてほしい。	参考	参考意見とします。
	29	93	フードドライブがもっとできる場所を作ってほしい。社協とかでできないか。	参考	まずは、試行として10/18～10/31まで資源循環課窓口で実施しています。
	30	100	ダンボールコンポストで得られた堆肥について、家庭で消費できない場合は、市として持ち込める場所を整備できないか。	参考	参考意見とします。
	31	55	雑がみをより適正分別に導くため、雑がみ袋の作り方等を市報などに毎回掲載してほしい。	参考	紙面の制限等もあり、毎回は難しいと考えます。雑がみ袋の作成動画のQRコードを追加しました。引き続き、イベント等での周知に努めます。
第3回 審議会前 オピニオン シート	32	28	「プラスチック容器包装を燃やすごみとして出している市民も1割..」とありますが、これらは、「不明なものや手間がかかるものについては」、というアンケート結果なので、この点を入れておかないとミスリーディングになるのではないかと思います。	反映する	追加しました。

33	31	ごみがカラス等によって荒らされるのは必ずしも排出マナー違反が原因ではないので、「排出マナーの向上」というよりは、「普及啓発によりカラス等による被害を防ぐ工夫の浸透を図る必要」としたほうが良いのではないでしょう。(p.44もそのような表現になっています)	反映する	修正しました。
34	42	排出物原単位6%減、処理ごみ原単位9%減を打ち出していますが、これらの数字の根拠について、簡単にでも触れておかないと説得力がないと思います。(くわしくは資料編でよいとは思いますが)	反映する	資料編に記載しました。
35	43	例えば、シャンプーの容器などで、詰め替えパックを土台のようなものにセットし、そのまま使えるようなものの提案。	参考	参考意見とします。
36	43、44	リデュースの項目の中に「人に譲る」がありますが、これはリユースではないでしょうか。リユースの項目の中に店頭回収がありますが、これはリサイクルではないでしょうか。	反映する	修正しました。
37	43	リユースの項目の続きの中に、廃棄せず修理するがありますが、これはリユースではないでしょうか。電子書籍や図書館もリデュースだと思われます。	反映する	修正しました。
38	44	市では収集できないものは。。。「市と相談して適正な廃棄物処理業者に」と入れてはいかがでしょう。	参考	実態としては市に相談してもらう形となるが、市が特定の業者を案内することはできないため、参考としました。
39	45	(細かいですが)「事業者の望ましい行動については、次のように考えます。」でいかがでしょう。「考えられます」はなんだか無責任に聞こえました。	反映する	修正しました。
40	49	ごみ分別アプリが使いづらい。特に検索がわかりづらい。品名検索がすぐ見つかってほしい。また、アプリの中で資源の汚れをどのくらい取るかも示してほしい。	参考	アプリに関しては、ベースとなる仕様がある程度決められていますが、できる範囲での改善を検討します。
41	49～98	前向きな表現とするため、「検討する」を「推進する」に変更するはどうか。	反映する	一部修正しました。ただ、文意より「検討する」の方が適していると思われるものについては、修正なしとしました。
42	53	粗大ごみ減量施策 はリユースではないでしょうか？	反映する	粗大ごみ減量施策として、今までは捨てていたものを捨てずに有効利用するという観点から、リデュースに分類しています。
43	55	雑がみの資源回収の普及。郵便受けに入るチラシ等の保管方法を考えたい。	参考	参考意見とします。
44	55	できた堆肥を環境学習での活用に限定する必要はないと思います。限定しないほうがよいと思います。できるだけ広く使っていただくのが良いでしょう。	反映する	修正しました。イベントにおいて成果物の堆肥を渡すことによって、食物資源循環事業の理解を深めていただいています。

45	60	ふれあい収集については、ご存じでない世帯も多いのではないのでしょうか。周知を進める必要もあると思います。	参考	ホームページで周知を行っています。
46	71	災害廃棄物の処理フローは生活ごみや避難所ごみを含め、表7-1-1にある対象となる廃棄物すべてについてのフローを示したほうが良いと思います。表7-1-2の最初の列が「分別解体」となっていますが、これは被災建築物だけに適用で、それ以外には該当しないので、表現を変えたほうが良いと思います。	参考	東京都災害廃棄物処理計画を参考としました。
47	72	表7-1-6 「(1)災害予防」という項目がありますが、「減災」と言われるように、災害を防ぐことは困難ですし、災害廃棄物計画では対応しきれないことのように思われます。(2)が初動期となっていますので、それに合わせて(1)平時でよいのではないのでしょうか？	参考	小平市の地域防災計画との整合のため、災害予防としました。
48	75	(参考意見) マンホールトイレについては、一般的な仮設トイレと異なり、快適で匂いも気にならない。災害時だけでなく、イベント等でも導入できればよい。	参考	参考意見とします。(現在は修正のため、マンホールトイレの文章が削除されています。)
49	76	いきなり「一次仮置場、二次仮置場」とでてきますが、説明はそのあとのp.75になるので、仮置場の詳細はp.78参照、とでも入れておいたほうが親切だと思います。	反映する	説明を追加しました。
50	79	選定の留意事項に「周辺に学校、病院。。。とありますが、特に緊急仮置場については、このような条件を入れてしまうと必要なところに設定できなくなってしまう(設置反対の根拠とされてしまう)おそれはないのでしょうか。	参考	国の指針にも記載されている内容ですので、変更なしとしました。
51	82	倒壊家屋の数量とありますが、浸水家屋も入れたほうが良いのではと思います。(p.85表7-2-5には両方入っています)	反映する	追加しました。
52	90	食品ロスコラムに「賞味期限切れで食べられず」とありますが、賞味期限は食べられるかどうかの期限ではないと知っているのに矛盾するように思います。品質劣化により、としたほうが妥当だと思います。(最悪でも賞味期限ではなく消費期限に置き換え)	反映する	修正しました。また、文章も見直しました。
53	91	食品ロス削減計画の中には、食物資源循環もはいつているので、計画の位置づけとして、食品ロスの削減とあわせて、食品廃棄物の有効利用もこの計画の目的にいれておくのがよいのではないのでしょうか。(p.94、p.100等)	反映する	追加しました。

54	96	<p>「賞味期限」と「消費期限」をチェックして、というのはやはり賞味期限切れで捨てることを進めてしまいそうに思うので、「食品の鮮度をチェックして」等でよいのではないのでしょうか。これは「買うとき。。。」ではなく、「食品の保存」の項目ではないのでしょうか。買うときに賞味期限にこだわると、手前取りに差し障ります。</p>	参考	<p>まずは、前提として期限内に無駄なく食べきることを啓発する内容とするため、変更なしとしました。ここでは、「賞味期限」と「消費期限」とチェックするのは「作るとき」を想定しています。</p>
55	99	<p>食べる順番を計画で記載するのはどうか。</p>	反映する	<p>やむを得ず残してしまう場合を想定し、意図がわかるように修正しました。</p>